

T-9



作業安全管理システム導入のご提案

－ 小電力ワイヤレス方式 転倒検知通報システム －



竹中センサーグループ

竹中エンジニアリング株式会社

作業安全管理システム 導入の御提案

— 小電力ワイヤレス方式 転倒検知通報システム —

1. 本提案の背景
2. 「倒れコール」システムの特徴
3. 「倒れコール」システム設置図



2008年03月06日

竹中エンジニアリング株式会社

1. 本提案の背景

■ 現状

- ➡ 不注意による事故は、教育と運用ルールの徹底によって概ね防止できるものの、不慮の事故を完全に消滅させることはできない。
- ➡ 発作的・偶発的な不慮の事故が発生した場合、迅速な対応が必要とされている。
※特に、一人作業・危険場所の作業や巡回をされる方々
- ➡ 携帯型転倒検知ブザーの導入を検討しているが、騒音の大きな現場では聞こえにくい。



不慮の事故に襲われた時や発作的な急病でその場に倒れこんだ時など、緊急で対応すべきアクシデントが発生した際、「EXH-TK1」は人の転倒を即座に感知し、無線により自動で事務所に通報致します。

2. 「倒れコール」システムの特徴



■ 転倒検知機能



『事故に遭遇して倒れこんでしまっても自動発信！』

突発的・偶発的・発作的な事故に遭遇され倒れこんでしまわれた場合は、非常ボタンを自ら押して事態を連絡するような行為は、現実的には非常に困難です。

転倒検知送信機は、そんな場合にでも、倒れこんだ状態が10秒継続すると非常ボタンを押す操作をしたのと同じ様に、小電力ワイヤレス信号を送信し、内蔵ブザーを鳴動してくれます。

■ 緊急用非常ボタン機能



『緊急事態発生の発見や確認時の通報に有効！』

操作が出来る状態の時は、この非常ボタンを押して頂く事で、小電力ワイヤレス信号が送信されます。受信装置を常に人がおられる事務所などに設置して頂けば、緊急事態の発生が管理でき、即時の対応が可能です。

※非常ボタンを押した時点で、送信機自体の内蔵ブザーも鳴動します。

■ 無線到達距離は100m

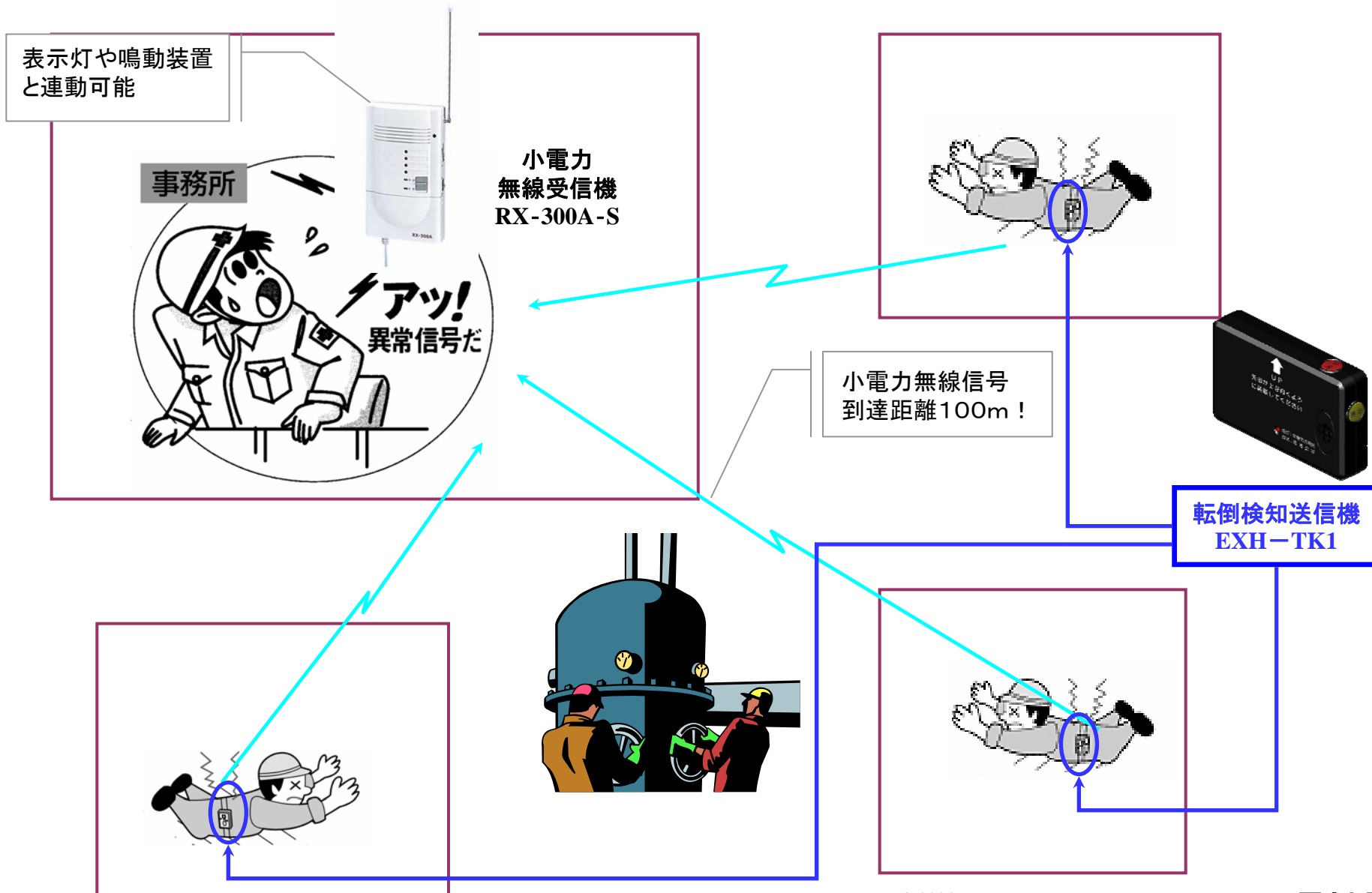


広い構内でも対応できます！

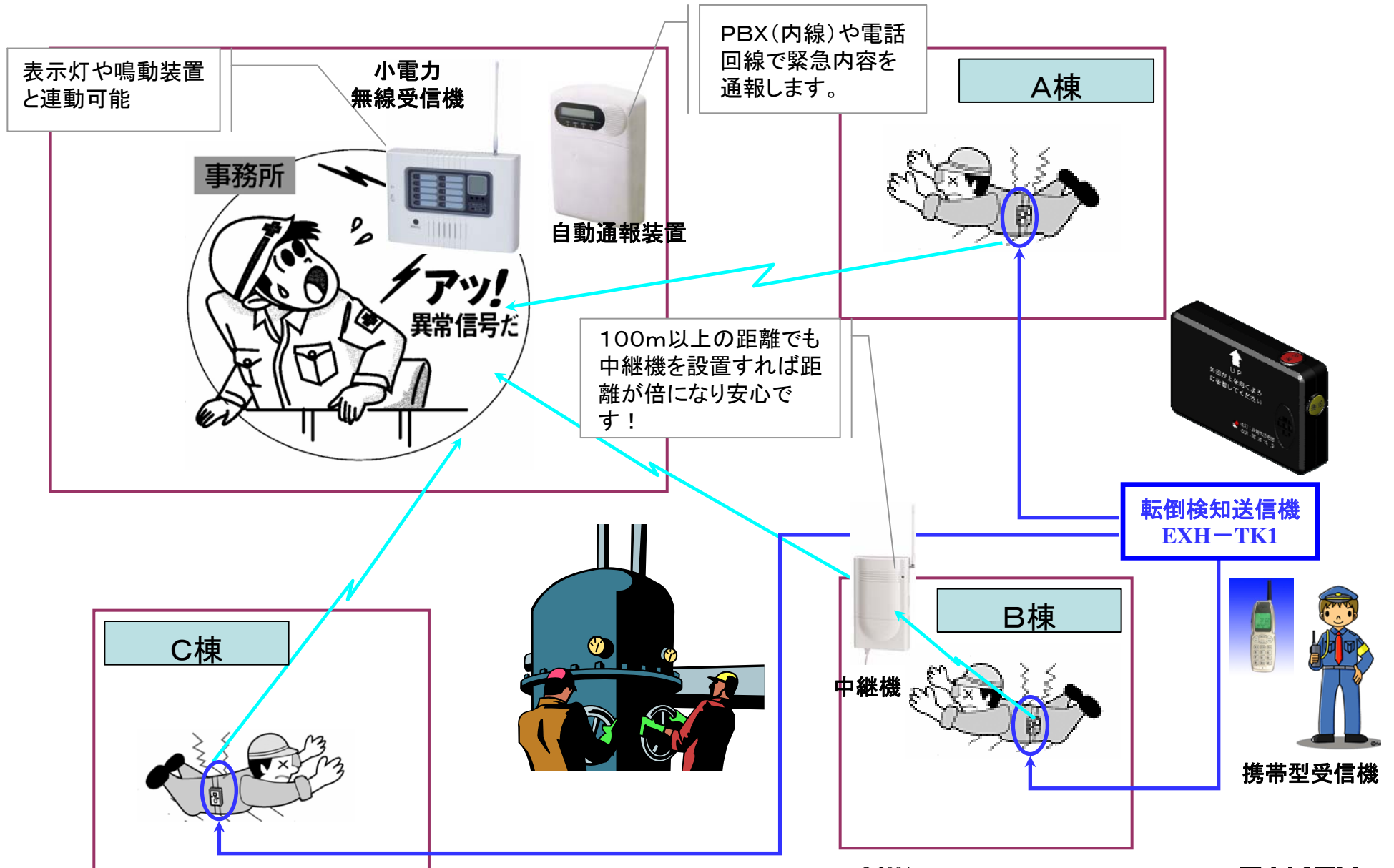
受信装置は、半径100mをカバーできますので、広い構内での運用にも対応できます。

更に広い構内でも、『中継機』が別売で用意できますので、送信機と受信装置間にAC100Vのコンセントがあれば、『中継機』が設置でき更に安心で、活用の範囲が広がります。

3. 「倒れコール」システム設置図



4. 「倒れコール」システム設置図（広域対応方式）



© 2004

本書の全部または一部の無断転載を禁じます。

TAKEX